

プリディファインド・チャンネルリスト

プリディファインド・チャンネルリスト機能は、Unite機器（RP／RP-T、またはサブマスターモードのTP／HP）の使用者がチャンネルを切り替えるために必要な時間を短縮します。



この節では、最大32チャンネルのプリディファインド・チャンネルリストを設定する方法を説明します。設定後、Unite受信機は起動時に既定のチャンネルへ自動接続できます。機器内に保存されたチャンネルリストは、追加の検索を行わずに表示されます。

次の点にご注意ください。

- AP4 micモード（全二重モード）のUnite TP／THでは、プリディファインド・チャンネルリストを使用できません。
- サブマスターモードのTP／THは、充電器からコピーされた情報を受信できません。そのため、リストは送信機本体でのみ保存・設定できます。すべてのサブマスター機器を、1台ずつ手動で設定する必要があります。

受信機の準備（Unite RP／RP-T、またはサブマスターモードのTP／TH）

受信機をプリディファインド・チャンネルリストモードで使用するには、以下の手順で設定します。

1. 受信機の電源／Menu／OKボタンを押します。▲または▼で System > Channel List > Mode に移動し、Predefined を選択します。電源／Menu／OKボタンでこの設定を有効にします。

プリディファインド・チャンネルリスト



2. メニューを終了し、メイン画面に戻ります。

3. ▲または▼を押すと、プリディファインド・チャンネルリスト画面が表示され、リストのアイコンが表示されます。

4. 追加のメニュー項目を有効にするには、次のどちらかのボタンの組み合わせを使用します。

- ▲と「-」を同時に押す。
- 「+」と▼を同時に押す。

Scan（検索）と Erase（削除）が表示されます。



プリディファインド・チャンネルリスト

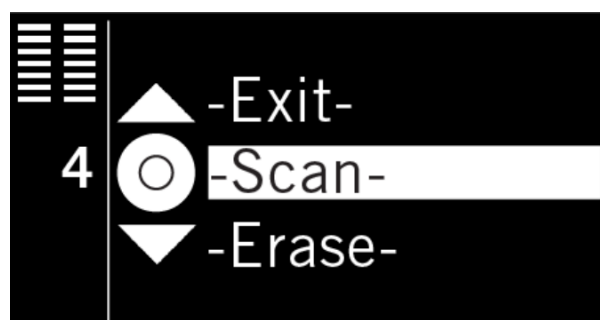
5. Scan を選択し、同じグループIDで動作している送信機の検索を開始します。検索中は、画面左上の検索アイコンが点滅します。



重要

- すべての送信機が同じグループIDを使用していることを確認してください。詳細は「Creating A New Pairing With The Charger（充電器で新しくペアリングする）」の節をご覧ください。
- 1～149のプライベートグループIDを使用する場合は、動作中の送信機を検索する前に通常のペアリングを行い、オーディオ暗号化キーも一致させてください。
- プライベートグループIDを使用する受信機のプリディファインド・チャンネルリストは、現在コピーできません。

6. リストに含めるすべての送信機の電源を入れます。数秒後、検索結果のリストに表示されます。検出されたチャンネル数は、リストの左側に表示されます。



受信機で検出できる機器は、マスターモードのすべてのTP／THと、ブロードキャストモードのAP4です。携帯型TP／THと据置型AP4を混在させたリストを作成できます。

プリディファインド・チャンネルリスト

サブマスターモードのTP/THでは、マスターモードのTP/THだけが表示されます。

7. 必要な送信機がすべて検索結果に表示されたら、Back（戻る）を選択して検索を停止し、プリディファインド・チャンネルリストに戻ります。



検出された送信機のチャンネルは、アルファベット順に表示されます。任意の順序にするには、送信機側でチャンネル名の先頭に数字を付けてください。

8. 検出された送信機をリストに含めたくない場合や、すでに使用できない場合は、リスト画面の Erase で削除できます。画面左上にXアイコンが表示される削除メニューで、削除するチャンネル名を選択するか、Erase all（すべて削除）で全項目をまとめて削除します。

最後に接続したチャンネルは削除できません。受信機には接続先の送信機が少なくとも1台必要なため、このチャンネルはリストに残ります。名前の前にアスタリスク（*）が付きます。この最後の項目を削除するには、先に別の送信機へ接続し、再度 Erase を使用してください。

9. ボタンロックの組み合わせ（▲と「-」、または「+」と▼を同時に押す）で、Scan と Erase を無効にします。これにより、使用者が後からリストを変更することを防ぎます。

10. 現在接続しているチャンネルは、名前の前にアスタリスク（*）が付き、すぐに確認できるよう常にリストの先頭に表示されます。

11. リスト画面を閉じるには、Exit（終了）を選択してメイン画面に戻ります。

プリディファインド・チャンネルリスト

12. プリディファインド・チャンネルリストの設定が完了しました。他の受信機へコピーする方法は、以下をご覧ください。

作成したチャンネルリストを他の受信機へコピーする

コピーは2段階で行います。まずコピー元の受信機から充電器へコピーし、次に充電器から他の受信機へコピーします。

次の点にご注意ください。

- 作成したリストをコピーすると、既定のチャンネル名とペアリング情報もコピーされます。
- コピー元の機器が150～256のパブリックグループIDを使用している場合にのみコピーできます。プライベートグループID（1～149）のコピー元から充電器へのコピーを行うとエラーになります。コピー元と充電器の両方でステータスLEDが赤く点灯し、エラーを示します。今後、プライベートグループIDでもプリディファインド・チャンネルリストを設定できる新しいUnite Managerソフトウェアが提供される予定です。

コピー元の機器から充電器へリストをコピーする

1. 必要なプリディファインド・チャンネルリストを設定した受信機を、コピー元に設定します。電源／Menu／OKボタンを押し、▲または▼で System > Channel List > Source Device に移動します。On を選択し、電源／Menu／OKボタンで確定します。



プリディファインド・チャンネルリスト

2. 作成したリストをコピーする充電器に、コピー元の機器を挿入します。

- 充電器へコピーするときは、コピー元の機器を1台だけ挿入してください。複数台を挿入すると、コピー元の機器と充電器の両方のステータスLEDにエラーが表示されます。
- 充電器にマスター機器が入っていないことも確認してください。マスター機器が入っていると、マスター機器、コピー元の機器、充電器のステータスLEDが赤く点灯し、エラーを示します。

3. 充電器の Pair/Reset ボタンを3秒以上押し続けてコピーを開始します。充電器の機種により、次のように表示されます。

旧型の充電ケース／ラック型充電器

ステータスLEDが1つ、ボタンが1つ、スライドスイッチが1つある機種：

ステータスLEDが点滅し始め、その後黄色に点灯します。充電器にリストが保存されたことを示すため、ステータスLEDが1秒ごとに黄色く点滅します。

新型の充電ケース／デスクトップ型充電器

LEDが2つ、ボタンが2つある機種：

Pairing Status LEDが黄色く点滅し始め、その後白く点灯して、充電器にリストが保存されたことを示します。

コピー元の機器

リストをコピーした元の機器のステータスLEDが、緑と黄色に5回点滅します。

4. リストが充電器へコピーされました。

コピー中に発生する可能性のあるエラーを、次に示します。

プリディファインド・チャンネルリスト

エラー	機器	動作
充電器にコピー元の機器を複数台挿入した。	旧型の充電ケース	Pair/Reset ボタンを押している間、ステータスLEDが黄色く点滅します。ボタンを離すと赤く5回点滅し、その後、元の状態に戻ります。
	新型の充電ケース	Pair/Reset ボタンを押している間、Pairing Status LEDが黄色く点滅します。ボタンを離すと赤く5回点滅し、その後、元の状態に戻ります。
	複数のコピー元機器	コピー元に設定したすべての機器のステータスLEDが赤く5回点滅し、その後、元の状態に戻ります。充電器へコピーするときは、コピー元の機器を1台だけ挿入してください。

プリディファインド・チャンネルリスト

エラー	機器	動作
充電器にマスター機器とコピー元の機器を同時に挿入した。	旧型の充電ケース	Pair/Reset ボタンを押している間、ステータスLEDが黄色く点滅します。ボタンを離すと赤く5回点滅し、その後、元の状態に戻ります。
	新型の充電ケース	Pair/Reset ボタンを押している間、Pairing Status LEDが黄色く点滅します。ボタンを離すと赤く5回点滅し、その後、元の状態に戻ります。
	複数のコピー元機器	コピー元に設定したすべての機器のステータスLEDが赤く5回点滅し、その後、元の状態に戻ります。充電器にマスター機器を挿入しないでください。
プリディファインド・チャンネルリストが空のコピー元機器を充電器に挿入した。	旧型の充電ケース	Pair/Reset ボタンを押している間、ステータスLEDが黄色く点滅します。ボタンを離すと赤く5回点滅し、その後、元の状態に戻ります。
	新型の充電ケース	Pair/Reset ボタンを押している間、Pairing Status LEDが黄色く点滅します。ボタンを離すと赤く5回点滅し、その後、元の状態に戻ります。
	コピー元の機器	リストが空のコピー元機器が赤く5回点滅し、その後、元の状態に戻ります。

プリディファインド・チャンネルリスト

充電器から他の受信機へリストをコピーする

1. リストをコピーする他の受信機を充電器に挿入します。
2. 充電器から、挿入した他の受信機へのコピーを開始するには、次の操作を行います。

旧型の充電ケース／ラック型充電器

ステータスLEDが1つ、ボタンが1つ、スライドスイッチが1つある機種：

スライドスイッチを Charge only から Pair & Charge に切り替えます。コピー中はステータスLEDが短く黄色に点滅します。

新型の充電ケース／デスクトップ型充電器

LEDが2つ、ボタンが2つある機種：

Auto Pair ボタンを1回押します。Pairing Status LEDがシアンに点灯します。コピー中はLEDが短くシアンに点滅します。

受信機

ステータスLEDが10秒間黄色に点灯し、更新されたリストを受信・保存したことを示します。その後、元の状態に戻ります。

プリディファインド・チャンネルリスト

3. 受信機も、プリディファインド・チャンネルリストを使用する設定に自動的に切り替わります。

充電器から挿入した受信機へコピーする際、次のエラーが発生する場合があります。エラーが発生した場合、受信機のステータスLEDは10秒間黄色に点灯しません。

エラー	対処
受信機のリストがすでに最新になっている。	なし。
受信機がコピー元モードのままになっている。	System > Channel List > Source device に移動し、Off を選択します。
TP/THマスター機器に対するサブマスターとして使用する送信機へ、リストをコピーしたい。	Sub-Master メニューを選び、System > Device Mode に移動して Sub-Master を選択します。 次の点にご注意ください。 • リストはSub-Masterモードで使用できますが、AP4 Mic (SubM) モードでは使用できません。 • 送信機へ、または送信機からリストをコピーすることはできません。そのため、Sub-Masterモードの送信機には Source device の設定項目がありません。 • リストは送信機本体でのみ保存・設定できます。すべての Sub-Master機器を、1台ずつ手動で設定する必要があります。
充電スロットでの接触状態が適切でない。	受信機を取り外し、もう一度挿入してください。

4. コピーが完了し、コピー元の受信機のリストを他の充電器へコピーする必要がない場合は、受信機の Source device を無効にします。電源/Menu/OKボタンを押し、▲または▼で System > Channel List > Source Device に移動します。Off を選択し、電源/Menu/OKボタンで確定します。

プリディファインド・チャンネルリスト



5. 充電器のプリディファインド・チャンネルリスト自動コピー機能を無効にする場合は、次の操作を行います。

旧型の充電ケース／ラック型充電器

ステータスLEDが1つ、ボタンが1つ、スライドスイッチが1つある機種：

スライドスイッチを Pair & Charge から Charge only に切り替えます。

新型の充電ケース／デスクトップ型充電器

LEDが2つ、ボタンが2つある機種：

Auto Pair ボタンを1回押します。Pairing Status LEDがシアンの点灯から白の点灯に変わります。

6. 充電器に保存されたリストを消去する場合は、次の操作を行います。

旧型の充電ケース／ラック型充電器

ステータスLEDが1つ、ボタンが1つ、スライドスイッチが1つある機種：

Pair/Reset ボタンを押し続けます。ステータスLEDが黄色く点滅し始めます。LEDが再び緑に点灯するまで押し続けてください。

新型の充電ケース／デスクトップ型充電器

LEDが2つ、ボタンが2つある機種：

Pair/Reset ボタンを押し続けます。Pairing Status LEDが黄色く点滅し始めます。LEDが消灯するまで押し続けてください。